# 令和元年度

# 木材の利用の促進に関する 県の施策の実施状況

令和2年9月 秋 田 県 「木材の利用の促進に関する県の施策の実施状況」は、秋田県木材 利用促進条例第十五条の規定に基づき作成するものである。

# (参考)

秋田県木材利用促進条例(平成28年4月1日 秋田県条例第6号)

(施策の実施状況の公表)

第十五条 知事は、毎年、木材の利用の促進に関する県の施策の実施 状況を公表するものとする。

| 令和  | 1元年  | F度木材の利用の促進に関する県の施策の実施状況            | 1        |
|-----|------|------------------------------------|----------|
| 1   | 木材   | すの利用の促進のために具体的に取り組む施策              | 2        |
| ( ] | 1) オ | 村の優先利用の促進のための施策                    | 2        |
|     | 1    | ウッドファースト県民運動の推進                    | 2        |
|     | 2    | 県民に対する木材利用の意義の普及啓発と情報発信の強化         | 2        |
|     |      | <ul><li>秋田県県産木材利用推進功労者表彰</li></ul> | 2-3      |
|     |      | ・木造施設事例の紹介                         | 3        |
|     | 3    | 木育の推進                              | 4        |
| ( 2 | 2)   | 具産木材の利用の促進のための施策                   | 4        |
|     | 1    | 公共部門での木材の優先利用の促進                   | 4        |
|     |      | ・公共施設での木材の優先利用                     | 4-5      |
|     |      | ・土木分野での木材の優先利用                     | 5        |
|     |      | ・公用調達での木材の優先利用                     | 5        |
|     | 2    | 民間部門での木材の優先利用の促進                   | 6        |
|     |      | ・住宅分野での木材の優先利用                     | 6        |
|     |      | ・民間非住宅分野での木材の優先利用                  | 7        |
|     | 3    | 県産木材の需要拡大のために必要な供給体制づくりの促進         | 7-8      |
|     | 4    | 県産木材を活用した新製品開発の促進                  | 8        |
| ( : | 3)   | 県産木材製品の国内販売及び輸出の促進のための施策           | 8        |
|     | 1    | 県外の住宅での県産木材製品の需要拡大                 | 8        |
|     | 2    | 県外での県産木材製品の需要拡大のためのプロモーション活動などの実施  | 8-9      |
|     | 3    | 海外への県産木材製品の需要拡大のためのプロモーション活動などの実施  | 9        |
| 2   | 木材   | すの利用の促進に必要な技術の開発のための施策             | 11       |
|     | 1    | 秋田県立大学木材高度加工研究所等での技術開発と企業への技術移転の推進 | 11       |
|     | 2    | <br>異業種連携等による新たな木質部材の開発            | 11<br>11 |
| 3   | 木材   | †の利用の促進に必要な人材の育成のための施策             | 12       |
|     | 1    | 新たな木質部材等の普及展開による人材の育成              | 12       |
|     | 2    | 産学官連携による県産木材を活用した木造建築への取組          | 12       |
| (考  | 家考)  | スギ製品出荷量                            | 13       |

# 令和元年度木材の利用の促進に関する県の施策の実施状況

○ 県では、平成28年4月に施行した秋田県木材利用促進条例に基づき、木材利用の促進 に関する施策を総合的に推進し、県内の林業及び木材産業の振興による本県経済の活性化 を図ることとしており、以下の体系により具体的な施策に取り組みました。

#### ■木材利用の促進のための施策の体系

#### 木材の利用の促進のために具体的に取り組む施策

#### 木材の優先利用の促進のための施策

- ①ウッドファースト県民運動の推進
- ②県民に対する木材利用の意義の普及啓発と情報発信の強化
- ③木育の推進

#### 県産木材の利用の促進のための施策

- ①公共部門での木材の優先利用の促進
- ②民間部門での木材の優先利用の促進
- ③県産木材の需要拡大のために必要な供給体制づくりの促進
- ④県産木材を活用した新製品開発の促進

#### 県産木材製品の国内販売及び輸出の促進のための施策

- ①県外の住宅での県産木材製品の需要拡大
- ②県外での県産木材製品の需要拡大のためのプロモーション活動などの実施
- ③海外への県産木材製品の需要拡大のためのプロモーション活動などの実施

#### 木材の利用の促進に必要な技術の開発のための施策

- ①秋田県立大学木材高度加工研究所等での技術開発と企業への技術移転の推進
- ②異業種連携等による新たな木質部材の開発

#### 木材の利用の促進に必要な人材の育成のための施策

- ①新たな木質部材等の普及展開による人材の育成
- ②産学官連携による県産木材を活用した木造建築への取組

# 1 木材の利用の促進のために具体的に取り組む施策

#### (1) 木材の優先利用の促進のための施策

○ 木材の優先利用を促進するため、ウッドファースト県民運動の推進や、木材利 用の意義の普及啓発と情報発信のほか、木育を促進します。

#### ① ウッドファースト県民運動の推進

非住宅分野における木材需要の喚起に向け、県内経済界と連携し、県内の企業経営者等を対象に「ウッドファーストあきた推進セミナー」を開催した。企業経営者や建築士、工務店、木材加工事業者、大学生が参加し、社屋や事務所など非住宅分野における都市部での木材利用事例の紹介や木造・木質化推進の可能性に関する講演・パネルディスカッションを行い、非住宅分野での木材利用に向けた意識の醸成を図った。

また、全県の小学4年生を対象に、秋田県水と緑の森づくり税事業により、森林のはたらきと木材の利用に関する副読本「あきたの森林」を配布し、森林学習の教材に活用されている。(全県小学校及び特別支援学校 計211校、配布部数8,182部)

[関連事業] ウッドファーストあきた県民運動推進事業

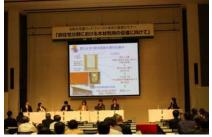
秋田県水と緑の森づくり推進事業

表-1 ウッドファーストあきた推進セミナーの内容

| 会場                  | 内容                  | 参加者数  | 開催月日           |
|---------------------|---------------------|-------|----------------|
| 秋田拠点センター アルヴェ (秋田市) | 基調講演<br>パネルディスカッション | 119 人 | 令和元年 10 月 10 日 |



[基調講演]



[パネルディスカッション]



[副読本「あきたの森林」]

#### ② 県民に対する木材利用の意義の普及啓発と情報発信の強化

#### 〇 秋田県県産木材利用推進功労者表彰

県産材利用に関する活動が顕著な団体等の活動 事例を県民に広く紹介し、県産材利用の普及を一 層推進するため、次の2団体を秋田県県産木材利 用推進功労者に選定し、「2019 あきた水と緑の森 林祭」において表彰した。

北秋田市の「秋田スギネットワークたかのす」は、長年、県産スギ材を活用した木造住宅の建築・普及による県産材利用を推進しており、地域の



[表彰式]

親子や児童を対象に木育活動にも取り組んでいる。

また、由利本荘市の「有限会社佐東製材所」は、顧客の要望に応じ様々な木製品 を製造・販売しており、近年は県外にも販路を拡大しており、県内外で県産材の利 用拡大に貢献している。

#### 〇 木造施設事例の紹介

公共施設や民間建築物の木造化・木質化を促進するため、建築士や施設の発注者 を主な対象として、施設概要や設計上のポイント、建築単価を明らかにした「木造 施設事例集」を更新し、秋田県公式サイト「美の国あきたネット」で発信した。



[木造施設事例集] (表紙)



秋田県動物愛護センター 「ワンニャピアあきた」 (外観)



(玄関ホール)

# トピックス1

# 秋田杉桶樽サミットの開催

古くから暮らしの必需品として親しまれてきた秋田杉桶樽の一層の普及を通じて、日 常生活・事業活動における木材の優先的な利用(ウッドファースト)を進めるため、「秋 田杉桶樽サミット」が秋田杉桶樽協同組合や東北森林管理局、県などでつくる実行委員 会により、令和元年10月に、秋田市の秋田拠点センター・アルヴェで開催された。

サミットでは、秋田県立大学足立准教授、新政酒造佐藤社長の基調講演、関係者によ るパネルディスカッションのほか、桶樽製作の実演や樽の鏡割り体験、木のおもちゃ遊 びなどが行われ、参加者約500人が秋田杉桶樽の魅力にふれた。



[基調講演]



(パネルディスカッション)



〔桶樽製作の実演〕

#### ③ 木育の推進

木育活動に取り組む森林ボランティア団体等に対し、木のおもちゃの貸出を行い、 子どもが木に触れあう機会を提供したほか、保護者に、木材の機能や木材利用によ る環境貢献などについての理解を促した。

また、秋田県水と緑の森づくり税事業を活用し、幼稚園や小・中学校等が実施する 木育活動に対し支援を行ったほか、公共施設等において親子が直接木を見て触れあう ことのできる木育空間の整備に支援し、木育活動の促進を図った。

[関連事業] 秋田県水と緑の森づくり推進事業

秋田県水と緑の森づくり事業

#### 表-2 森づくり税を活用した木育活動支援件数

| 実施主体 | H29  | Н30    | R1     |
|------|------|--------|--------|
| 幼稚園  | 4件   | 7件     | 8件     |
| 小学校  | 15 件 | 12 件   | 12 件   |
| 中学校  | 1件   | 1件     | 2件     |
| 市町   | 4件   | 2(2)件  | 4(6)件  |
| 県    |      | (1)件   |        |
| 民 間  | 7件   | 9件     | 12 件   |
| 計    | 31 件 | 31(3)件 | 38(6)件 |



[木育空間の整備]

※()は木育空間整備の件数で外数。

#### (2) 県産木材の利用の促進のための施策

- 県は率先して公共建築物等の木造化・木質化を推進するとともに、住宅や民間 の非住宅分野での木材利用を促進します。
- CLT等の新たな木質部材やバイオマス等の利用を促進するとともに、品質性能の確かな県産木材製品を供給できる体制づくりに支援します。
- 県産木材の需要拡大のため、必要な施設整備や新たな製品開発を支援します。

#### ① 公共部門での木材の優先利用の促進

#### ○ 県が実施する公共施設での木材の優先利用

令和元年度に建築した県営9施設のうち、5施設で木造化・木質化を図った。

表-3 県営施設の建築数

| 木造化 | 2 件 |
|-----|-----|
| 木質化 | 3 件 |
| その他 | 4 件 |
| 計   | 9 件 |



[県立総合射撃場 作業舎]





〔比内支援学校校舎棟 教室〕

〔鹿角警察署 外扇ノ間宿舎 外観〕

# 〇 土木分野での木材の優先利用

公共事業を中心に、木製治山ダムエや木製防風柵工などの工事に 1,709m3 の県産 木材を使用した。

[関連事業] 緊急予防治山事業ほか



[木製治山ダム工]



[木製防風柵工]

#### 〇 公用調達での木材の優先利用

由利地域振興局では、平成30年度に引き続き 由利工業高等学校と連携し、地元産スギ材を使 用して製作したテーブルとベンチを庁舎内の県 民ホールに導入した。

[関連事業] 県民ホール内什器木質化事業



[製作に携わった由利工業高等学校生徒]

# トピックス2 <u>海づくり大会の開催</u>

第39回全国豊かな海づくり大会が、即位後初めての来県となる天皇皇后両陛下をお迎えして令和元年9月に秋田市で開催された。

放流行事の各設備には、「豊かな海は豊かな森が育む」をコンセプトに、本県が誇る 木材加工技術が随所に活用された。台風の影響で、両陛下による御放流は叶わなかった ものの、放流行事に使われた御放流台は、次期開催県である宮城県に引き継がれた。



[御放流台]



[司会台]

#### ② 民間部門での木材の優先利用の促進

#### 〇 住宅分野での木材の優先利用

住宅における県産材利用を促進するため、県内で新築住宅を建築する工務店グループ (15 グループ・89 社) に対して、構造材や下地材での県産材の利用率向上を図る取組や、見学会等の実施による普及 P R 活動を支援した。

[関連事業] ウッドファーストなあきたの住まいづくり促進事業







[秋田スギをふんだんに使用した新築住宅]

#### ○ 民間非住宅分野での木材の優先利用

オフィスビル等での木材利用の実現可能性を企業経営者や建築士等に示すため、建築講座において設計演習した一般流通材を使用した三階建て木造オフィスビルのイメージを、ウッドファーストあきた推進セミナーで紹介し、周知を図った。

[関連事業] 県産材新用途開拓事業



[三階建て木造オフィスビルのイメージ]

# トピックス3

# 秋田駅周辺の木造化・木質化の取組

JR秋田駅周辺では、駅西口バスターミナルの木造化を皮切りに、民間施設の木造化・木質化の取組が進められている。

令和元年12月には、JR東日本秋田支社が駅東口に建設を進めていたスポーツ施設 (体育館)「秋田ノーザンゲートスクエア」が完成した。RC・S・木混構造の3階建てで、 エントランスに1時間耐火部材、体育館天井部にスギー般流通材が使用されている。

また、令和2年3月には、駅ビル「トピコ」の1階リニューアルに併せ「秋田駅トピコ郵便局」が新たに開設された。同郵便局の受付カウンター上部やエントランス脇の壁面に秋田スギ材が使用されている。



[秋田ノーザンゲートスクエア]



〔秋田駅トピコ郵便局〕

## ③ 県産木材の需要拡大のために必要な供給体制づくりの促進

#### ○ 施設整備による供給体制づくりの促進

競争力のある木材総合加工産地として、品質・性能の確かな木材製品の低コスト安定供給体制づくりを進めるため、乾燥設備の増強による生産性向上を図る加工施設整備を支援した。

[関連事業] 林業成長産業化総合対策事業



[木材乾燥機]

#### ○ 研修会や技術指導による木材加工技術等の向上の促進

木材加工の研究者を講師に招き木材乾燥技術力向上 研修会を開催したほか、工場への視察訪問による木材 産業事業者への技術指導を行った。

[関連事業] 県産材新用途開拓事業



〔木材乾燥技術力向上研修会〕

#### ④ 県産木材を活用した新製品開発の促進

木材加工推進機構では、木材高度加工研究所の協力を得ながら、企業からの依頼を 受け、新製品開発過程などで必要な、木材に関する性能試験(強度、物性、耐火・燃 焼試験ほか)に対応している。

#### (3) 県産木材製品の国内販売及び輸出の促進のための施策

○ 県外での需要拡大を図るためのプロモーション活動や、海外への輸出にチャレンジする取組を促進します。

#### ① 県外の住宅での県産木材製品の需要拡大

県外の住宅メーカー (4社) が本県との間で締結 した「県産材の利用に関する協定」に基づき、県外 14都県において、構造材に県産木材製品を使用した 新築住宅を建築した。

[関連事業] ウッドファーストなあきたの住まいづくり促進事業



※緑色:協定に基づき新築住宅の実績があった都県

② 県外での県産木材製品の需要拡大のためのプロモーション活動などの実施 2020 東京オリンピック・パラリンピック需要を見据えた東京都主催の展示会「WOOD コレクション令和元年」に参加し、大手建設会社への県産木材製品のプロモーションを実施した。







[秋田県木材産業協同組合連合会による秋田県ブース]

関東の大手木材市場において、記念市に合わせ県産木材製品の展示販売会を開催するとともに、製品の求評や新たなニーズの把握のため、市場の買い方と出展企業等との意見交換会を実施した。

[関連事業] 秋田の木プロモーション事業

#### 表-4 関東圏木材市場での展示即売会の内容

| 開催月日   | 開催地                | 出展材積量              | 県内参加企業数 |
|--------|--------------------|--------------------|---------|
| 11月21日 | (株)東京木材相互市場 相互筑波市場 | $146~\mathrm{m}^3$ | 10 社    |







[相互筑波市場 展示即壳会]

また、首都圏において、秋田県産材を継続的に利用している大手住宅メーカー 主催の施主向け感謝イベントに出展し、県産材等のサンプルパネルの展示や木工 クラフト体験・積み木コーナー、秋田県の森林・林業の紹介等を行った。







〔木工クラフト体験〕

〔スギ、広葉樹サンプルパネル〕

〔積み木コーナー〕

## ③ 海外への県産木材製品の需要拡大のためのプロモーション活動などの実施

海外マーケットでの県産木材製品の新たな販路開拓と認知度の向上を図るため、製品輸出等に関する情報収集を進めるとともに、秋田県中小企業団体中央会と連携し、 県内の木材加工事業者等を対象に「木材・木製品販路開拓懇談会」を開催した。

[関連事業] 秋田の木プロモーション事業







[木材·木製品販路開拓懇談会]

# トピックス4

# 東京オリ・パラの選手村ビレッジプラザにおける県産材利用

選手村の玄関口であり中心的な施設であるビレッジプラザは、大会中、メディアセンターやカフェなどが入るほか、チーム歓迎式典の会場として使用される。

この施設は、木造平屋の $A\sim E$ の5棟(延床面積: 5,300 ㎡、木材使用量: 1,300 ㎡)で構成され、建築に当たっては、秋田県と大館市を含む全国 63 自治体から無償提供された木材が使われた。

#### 【秋田県による提供木材の利用状況】

- 秋田スギの製材品など約24 m<sup>3</sup>を納入。
- A棟(メディアセンター、ゲストパスセンター等)の梁、床、壁に利用。
- 大仙市の県有林のスギを製材・合板・CLTに加工して提供。
- 木材供給に当たっては、林業・木材産業を学ぶ若い人材(秋田林業大学校、秋田北鷹高等学校、県立鷹巣技術専門校、秋田職業能力開発短期大学校)が丸太の生産や製品の塗装・印字作業に参加。

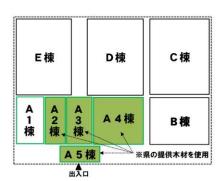
### (参考) 県産材の利用状況



[施設全景]



[A5棟・梁の多くで使用]



[施設見取り図]



[提供木材には県名を刻印:A5棟の梁]

# 2 木材の利用の促進に必要な技術の開発のための施策

○ 多様な木質部材に対するニーズに応えるため、秋田県立大学木材高度加工研究所 等での木材の加工・利用に関する技術開発を促進します。

#### ① 秋田県立大学木材高度加工研究所等での技術開発と企業への技術移転の推進

○ 木材高度加工研究所への委託により、土木分野における県産材からなるCLTを活用した製品開発に向け、土木用敷板の接合部の検討や、歩道橋等橋梁用床版のラッピング(包装化)等の耐久性の検証を進めている。

「関連事業」県産材新用途開拓事業







〔試作した CLT 土木用敷板〕

〔接合部:スカーフジョイント〕

[CLT 橋梁用床版の曲げ試験]

○ 県と秋田県立大学が連携し、木質耐火構造部材と コンクリート・鉄骨構造部材との接合部の耐火性能 の検証を進めている。

[関連事業] 県産材新用途開拓事業



[RC 造-木造梁端接合部の耐火試験]

#### ② 異業種連携等による新たな木質部材の開発

県と秋田県立大学、畜産農家が連携し、畜舎への間柱などスギー般流通材の活用に向け、低コストな木造畜舎の設計の実証に取り組んでいる。

[関連事業] 県産材新用途開拓事業



[木造畜舎:メタルプレートコネクターを用いた軸組トラス試験体]

# 3 木材の利用の促進に必要な人材の育成のための施策

○ 県内の建築士等を対象に、県産木材製品や新たな木質部材を活用した建築物を提 案できる人材を育成します。

#### ① 新たな木質部材等の普及展開による人材の育成

木質構造等に精通した人材を育成するため、県内の建築士を対象に、建築講座を4回 開催し、木構造や防耐火をテーマとした設計演習を実施した。

また、若手の建築人材が木材利用について理解を深めるため、「木材を用いた店舗(非住宅建築物)」をテーマに木材利用提案コンクールを開催したところ、県内の大学等で建築を学ぶ学生から、30点の応募があった。

[関連事業] 県産材新用途開拓事業



[建築講座 設計演習の様子]



[木材利用提案コンクール 最優秀賞]

## ② 産学官連携による県産木材を活用した木造建築への取組

秋田県立大学等が開発し、1時間耐火構造で国土交通大臣の認定を取得したスギ耐火集成材の梁が、秋田駅東口に建設された「秋田ノーザンゲートスクエア」に使用された。





[秋田ノーザンゲートスクエア1階エントランスの梁に使用されたスギ耐火集成材]

# (参考)

【第3期ふるさと秋田元気創造プランの数値目標と実績:スギ製品出荷量】

